



アメリカ言語学史

について調べる



★ 関連キーワード

- 構造言語学
- 生成文法
- 社会言語学

「Paste (ぱすて)」とは？

ぱっと分かって、すっと頭に入る、テーマ別調べ方ガイドです。みなさんの学習をサポートする、総合図書館ラーニング・サポーター（LS）による作成です。レポート作成の際などにお役立てください

1. イントロダクション

1-1. 「アメリカ言語学史」とは？

学問分野として明確に確立されてはいないものの、現在の言語学における諸研究分野を把握するうえで有用である。大きく三つの分野に分類され、L. ブルームフィールドらによって 20 世紀前半に確立されたアメリカ構造言語学、1957 年に N. チョムスキーによって提唱された生成文法理論、そして 1960 年代以降に W. ラボフを中心として発展した社会言語学が挙げられる。

1-2. 学習するにあたってのポイント

これら各研究分野は、それ以前の言語研究が抱えていた課題を克服することを目的として生み出されたものである。アメリカ構造言語学は、言語を客観的かつ科学的に記述・分析することを目指し、生成文法理論は、構造言語学では十分に説明できなかった、人間が無尽蔵に文を生成・理解する能力を説明することを目指した。さらに、社会言語学は、こうした研究において排除されがちであった言語の社会的側面を明らかにすることを目指した。したがって、各分野の研究目標と、それに対応して開発された手法、さらにはそれらの限界を理解することは、現在の言語学における下位領域（音韻論、形態論、統語論、意味論など）の発展を理解するうえで重要な手がかりとなる。

2. 学習用資料

2-1. 事典・ハンドブック 類

■ [明解言語学辞典 / 斎藤純男, 田口善久, 西村義樹編](#)

言語学における重要な学術用語とその解説がコンパクトにまとめられている。各用語の説明の末尾には参考文献が掲載されているため、興味を持った概念についてさらに調べることが容易である。

【書誌 ID= 2004370537】総合図-A 棟 4 階 学習用図書/総合図-書庫棟 研究用図書 803/SAI

2-2. 最初に読むべき資料：教科書・古典

■ [言語 / ブルームフィールド\[著\]；服部四郎序；三宅鴻, 日野資純訳](#)

ブルームフィールドがどのような思考のもと構造言語学を確立したのかを理解できる。ブルームフィールドの打ち立てたアメリカ構造言語学は、現在は非主流な学派であるが、帰納的な分析手法が基礎言語理論などに継承されているため、研究手法の学習にも有用である。

【書誌 ID=2003148211】総合図-A 棟 4 階 学習用図書/総合図-書庫棟 研究用図書 801/BLO

■ [統辞構造論：付「言語理論の論理構造」序論 / チョムスキー著；福井直樹, 辻子美保子訳](#)

チョムスキーが生成文法をはじめて世に公表した著作。理論言語学の大きな潮流として現在も発展を続ける理論がどのような学問的な流れの中で生まれたのかを理解できる。

【書誌 ID=2004309079】総合図-A 棟 3 階 文庫・新書 089/IB/336951

■ [ことばの民族誌：社会言語学の基礎 / デル・ハイムズ著；唐須教光訳](#)

ブルームフィールドやチョムスキーの研究手法が、言語の社会的側面を捨象していると批判し、ラボフらの当時最新の社会言語学的研究を紹介しつつ、社会言語学の確立に貢献した一冊。

【書誌 ID=2002042706】総合図-A 棟 4 階 学習用図書/総合図-書庫棟 研究用図書 801.03/HYM

2-3. その他専門書・学術論文等で注目すべきもの

■ [一般言語学講義 / フェルディナン・ド・ソシュール \[著\]；小林英夫訳](#)

ブルームフィールドよりも少し早く、ヨーロッパのスイスで構造言語学を確立したソシュールの著作。アメリカではブルームフィールドの理論と同一視され流入が 1970 年代と遅かったが、実際は異なる点も多い。

【書誌 ID= 2003054840】総合図-A 棟 4 階 学習用図書 801/BOU

■ [話すということ：言語的交換のエコノミー / ピエール・ブルデュー \[著\]；稲賀繁美訳](#)

ソシュールやブルームフィールド、チョムスキーといった言語研究を科学的に行うことを追求した言語学者のイデオロギーを批判する著作。

【書誌 ID= 2003054840】総合図-A 棟 4 階 学習用図書 801/BOU

■ [ポール・ロワイヤル文法：一般・理性文法 / C.ランスロー, A.アルノー著；ポール・リーチ編序；南館英孝訳](#)

この著作自体は 1660 年フランスで著されたものであるが、ブルームフィールド以前の言語研究がどのように行われていたのかをうかがい知ることのできる著作。言語学がどのような学術的潮流のなかで発展してきたのかを理解する手助けになる。

【書誌 ID= 2002069565】総合図-A 棟 4 階 学習用図書/総合図-書庫棟 研究用図書 855/LAN

3. レポート・論文執筆用資料

3-1. 有用な検索キーワード

- ◆ 主要キーワード: アメリカ構造言語学/生成文法理論/社会言語学
- ◆ 関連キーワード: 構造言語学/言語人類学/音韻論/意味論/言語イデオロギー
- ◆ 補助キーワード: 普遍文法/言語共同体/分布主義/記述主義/ラング/パロール/言語能力 (competence)/言語運用 (performance)/communicative competence/フランツ・ボアズ/エドワード・サピア/ウィリアム・ラボフ/ジョン・J・ガンパーツ

本文中で紹介している図書・雑誌について

図書名・雑誌名の後ろに「書誌 ID」(10桁の数字)の記載があるものは大阪大学で所蔵しています。この10桁の数字で大阪大学 OPAC(蔵書検索システム)が検索できます。

